

(別添資料1)

事業所名 児童発達支援放課後等デイサービス ひまわり 支援プログラム(参考様式) 放課後等デイサービス 作成日 R7 年 1 月 24 日

法人(事業所) 理念	①ここから働きかける多彩なソーシャルスキルトレーニングで、子供たちの得意を伸ばします。 ②個々のペースで楽しめるプログラムにより関わる人すべてが安心できる放課後づくりをいたします。 ③「ほめて育てる」が職員同士の合言葉！子どもたち一人一人の見え方を想像し認め合う社会を経験させます！ ④スポーツを通じて、あいさつのできる子どもにします。		
支援方針	スポーツを通じて笑顔で明るいあいさつの出来る子供に育てていきましょう。		
営業時間	平日 土祝(長期)	10時 9時	18時 17時
	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	①健康状態の維持・改善 粗大運動や微細運動を取り入れ、体力や運動機能の向上を支援します。例(鉄棒、マット運動、跳び箱、バランスボール、縄跳び)など様々な器具を使用しています。また、手先訓練ボードを用いて(ボタン止め、蓋の開け閉め、チャックの開け閉め、ちょうちょ結び)など個々の発達段階に合わせた療育も取り入れております。 ②基本生活のスキルを獲得 通所時に靴を下駄箱に入れる、荷物を所定のかごに入れる、ノートを提出する、衣服の着脱や手洗いトイレの誘導などを活動の中で取り入れていきます。 ③生活習慣や生活リズムの形成 各それぞれ選んだ活動を受け入れ安心して楽しく過ごせる環境作りをします。 具体的な活動としては、個別指導一人30分程度(学校の宿題等、保護者様からの希望に合わせた療育)→活動(鉄棒、マット運動、縄跳びなど)→自由遊び	
	運動・感覚	姿勢やバランス感覚の習得・動作の基本的機能の向上 ・運動器具(鉄棒、跳び箱、マット、トランポリン、バランスボール、ラダー)を使用して筋力の維持や姿勢保持。 歩く、走る、跳ぶなどの基本的動作の習得を目指します。 ・土曜日や祝日(長期休暇)などは公園に行き身体を動かす時間も設けております。	
	認知・行動	①認知の特性についての理解と対応 活動の中で形や大きさなどを形成。人の認知と拡大支援。 お子様自身が〇〇までに出来るようになる。と目標を設定して楽しく取り組めるように、個々にあった声掛けや指導を行います。 ②行動障害への予防及び対応 互い行動、物を叩くなどの社会的に受け入れがたい行為が見られた際は、個々に合った方法で適切な行動の習得を目指します。例(絵カードを提示しながら伝えるなど)	
	言語 コミュニケーション	①言語の受容及び表出 職員や他児との関わりの時間を大切にしながら話しやすい環境を作ります。 ②コミュニケーションの基礎的能力の向上 言葉が難しいお子様には個々に合った方法でコミュニケーションがとれるように支援します。 また、遊びの中で(トランプ、UNO、絵カルタ、文字カード)などを用いた遊びを取り入れてます。	
	人間関係 社会性	仲間作りと集団活動への参加 手段活動を通してルールや決まりを守って生活が出来るように指導します。 挨拶や身の回りのことが自分で出来るように一人一人のお子様の様子を見守りながら声掛けや支援を行います。(鞆の整理、片付け、忘れ物がないかの確認) 問題行動に対して十分に注意し、良い行動はしっかりと褒めて自信を身に付けています。	
家族支援	月2回家庭訪問で保護者の困りごとなどの相談。電話相談。送迎時の相談。 個別支援の場面の観察や面談の機会などを通じてお伝えし、共有する。	移行支援	学校の連絡と当事業所の連絡内容を相違に確認し、日々の様子を確認する。 移行支援の参加と相談員への情報共有。
地域支援・地域連携	連携会議を定期的に開催し、情報収集や役割分担について協議する。	職員の質の向上	外部研修と定例会議
主な行事等	みんなで一緒に楽しめる、さまざまな年間行事を予定しています。(ハロウィン、クリスマス会、節分など) 避難訓練の実施。夏休みなどの長期休暇は水遊びもしています。		

(別添資料1)

事業所名 児童発達支援放課後等デイサービス ひまわり 支援プログラム(参考様式) 児童発達支援 作成日 R7 年 1 月 24 日

法人(事業所)理念	①こことからだに働きかける多彩なソーシャルスキルトレーニングで、子供たちの得意を伸ばします。 ②個々のペースで楽しめるプログラムにより関わる人すべてが安心できる放課後づくりをいたします。 ③「ほめて育てる」が職員同士の合言葉！子どもたち一人一人の見え方を想像し認め合う社会を経験させます！ ④スポーツを通じて、あいさつのできる子どもにします。		
支援方針	スポーツを通じて笑顔で明るいあいさつの出来る子供に育てていきましょう。		
営業時間	平日 10時 18時 土祝(長期) 9時 17時	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	①健康状態の維持・改善 粗大運動や微細運動を取り入れ、体力や運動機能の向上を支援します。例(鉄棒、マット運動、跳び箱、バランスボール、縄跳び)など様々な器具を使用しています。また、手先訓練ボードを用いて(ボタン止め、蓋の開け閉め、チャックの開け閉め、ちょうちょ結び)など個々の発達段階に合わせた療育も取り入れております。 ②基本生活のスキルを獲得 通所時に靴を下駄箱に入れる、荷物を所定のかごに入れる、ノートを提出する、衣服の着脱や手洗いトイレの誘導などを活動の中で取り入れていきます。 ③生活習慣や生活リズムの形成 各それぞれ選んだ活動を受け入れ安心して楽しく過ごせる環境作りをします。 具体的な活動としては、個別指導一人30分程度(読み書きの練習、学習プリント、保護者様からの希望に合わせた療育)→活動(鉄棒、マット運動、縄跳びなど)→自由遊び	
	運動・感覚	姿勢やバランス感覚の習得・動作の基本的機能の向上 ・運動器具(鉄棒、跳び箱、マット、トランポリン、バランスボール、ラダー)を使用して筋力の維持や姿勢保持。 歩く、走る、跳ぶなどの基本的動作の習得を目指します。 ・土曜日や祝日(長期休暇)などは公園に行って身体を動かす時間も設けております。	
	認知・行動	①認知の特性についての理解と対応 施設や玩具にある基本の色(赤、青、黄色、白)などの色の習得。 粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形式。 また、学習プリントや絵本を活用して「大きい」「小さい」「少ない」「多い」などの認識を習得。 ②行動障害への予防及び対応 互い行動、物を叩くなどの社会的に受け入れがたい行為が見られた際は、個々に合った方法で適切な行動の習得を目指します。 例(絵カードを提示しながら伝えるなど)	
	言語コミュニケーション	①言語の受容及び表出 「これは何色かな?」「次は誰かな?」と言った簡単な問いかけや玩具を貸してもらう際に「貸してください」「ありがとう」と言った言葉を発してもらうことで話すことの楽しさを感じてもらいます。 職員や他児との関わりの時間を大切にしながら話しやすい環境を作ります。 ②コミュニケーションの基礎的能力の向上 言葉が難しいお子様には個々に合った方法でコミュニケーションがとれるように支援します。 また、遊びの中で(絵カルタ、文字カード、あいうえ表)などを用いて言葉遊びを取り入れてます。	
	人間関係社会性	仲間作りと集団活動への参加 見立て遊び、ごっこ遊びなど、遊びの中から習得を目指します。ルールや決まりを守って生活が出来るように指導します。 挨拶や身の回りのことが自分で出来るように一人一人のお子様の様子を見守りながら声掛けや支援を行います。(靴の整理、片付け、忘れ物がないかの確認) 問題行動に対して十分に注意し、良い行動はしっかりと褒めて自信を身に付けています。	
家族支援	月2回家庭訪問で保護者の困りごとなどの相談。電話相談。送迎時の相談。個別支援の場面の観察や面談の機会などを通じてお伝えし、共有する。	移行支援	学校の連絡と当事業所の連絡内容を相違に確認し、日々の様子を確認する。 移行支援の参加と相談員への情報共有。
地域支援・地域連携	連携会議を定期的に行い、情報収集や役割分担について協議する。	職員の質の向上	外部研修と定例会議
主な行事等	みんなで一緒に楽しめる、さまざまな年間行事を予定しています。(ハロウィン、クリスマス会、節分など) 避難訓練の実施。夏休みなどの長期休暇は水遊びもしています。		